

1 令和2年度予算案について（議題）……………【資料1】

予算の内容といたしましては、来年度の協議会を3回予定しており、運営費としての委員の方への報酬及び旅費となっております。

2 令和元年度地域公共交通確保維持改善事業に係る  
事業評価について（報告）……………【資料2】

令和2年1月20日付け大交協第13号で委員の皆様に照会した結果、18名全員からご承認をいただきましたので、令和2年1月29日付けで国土交通省関東運輸局長へ別添資料2のとおり提出したことをご報告いたします。

3 白里地区コミュニティバス「はまバス」のチラシについて（送付）

白里地区コミュニティバス「はまバス」の運行計画の見直しについては、令和元年12月20日付けで国土交通省関東運輸局長へ変更許可に係る申請書を提出し、令和2年2月21日付けで関東運輸局の許可がおりました。

今後は、令和2年4月1日の運行に向け、諸手続きを進めるとともに、送付したチラシを活用し、周知して参ります。

資料 1

令和2年度大網白里市地域公共交通活性化協議会当初予算案

1 歳 入

(単位:千円)

	令和2年度	令和元年度	比 較	説 明
負担金	205	63	142	
負担金	205	63	142	
負担金	205	63	142	市一般会計より 205,000 円
繰越金	26	102	△76	
繰越金	26	102	△76	
繰越金	26	102	△76	前年度繰越見込( 26,571 円)
諸収入	1	1	0	
諸収入	1	1	0	
雑入	1	1	0	預金利子等
合 計	232	166	66	

歳入合計 232 千円

2 歳 出

(単位:千円)

	令和2年度	令和元年度	比 較	説 明
運営費	231	161	70	
会議費	221	154	67	
会議費	221	154	67	報酬(協議会3回分)
事務費	10	7	3	
事務費	10	7	3	旅費
予備費	1	5	△4	
予備費	1	5	△4	
予備費	1	5	△4	
合 計	232	166	66	

歳出合計 232 千円

## 大網白里市地域公共交通活性化協議会 委員名簿

区分	役職等	氏名	照会結果
1 学識者	日本大学理工学部交通システム工学科 教授	轟 朝幸	(会長)
2 市職員	大網白里市副市長	深井 良司	承認
3 市民代表(公募)	公募委員	香川 喜久子	承認
4 市民代表(公募)	公募委員	池田 良子	承認
5 市民代表(市社会福祉協議会)	社会福祉法人 大網白里市社会福祉協議会会長	永野 和子	承認
6 市民代表(市区長会)	大網白里市区長会	稻生 晴時	承認
7 市民代表(市商工会)	大網白里市商工会長	久我 一雄	承認
8 事業者	小湊鉄道株式会社 事業部企画課 係長	田中 雄一	承認
9 事業者	千葉中央バス株式会社 取締役営業部長	中村 隆	承認
10 事業者	有限会社小倉観光サービス 会長	小倉 勉	承認
11 事業者	秋葉タクシー有限会社 代表取締役社長	秋葉 秀太	承認
12 事業者の組織する団体	一般社団法人 千葉県バス協会 専務理事	成田 斎	承認
13 事業者の組織する団体	一般社団法人 千葉県タクシー協会東総支部(有限会社つくもタクシー代表取締役)	糸日谷 守	承認
14 事業用運転手の組織する団体	小湊鉄道労働組合 書記長	古市 茂雄	承認
15 千葉運輸支局	国土交通省関東運輸局千葉運輸支局 首席運輸企画専門官	飯塚 孝廣	承認
16 道路管理者	山武土木事務所長	宮田 昌明	承認
17 警察	東金警察署交通課長	岩崎 裕昭	承認
18 千葉県	千葉県総合企画部交通計画課企画調整班長	川俣 好彦	承認
19 市職員 道路管理者	大網白里市建設課長事務取扱参事	石川 達秀	承認

オブザーバー	大網白里市社会福祉課長事務取扱参事	石川 普一	-
オブザーバー	大網白里市高齢者支援課長	石原 治幸	-

事務局長	大網白里市企画政策課長	武田 裕行
事務局	大網白里市企画政策課副課長	加藤岡 裕二
	大網白里市企画政策課主査	菊池 有輔
	大網白里市企画政策課	弘中 圭介
	大網白里市企画政策課	小川 光紀

# 地域公共交通確保改善事業・事業評価(生活交通確保維持改修計画に基づく事業)

令和2年1月29日

協議会名:大網白里市地域公共交通活性化協議会  
評価対象事業名:地域内ファイダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
増穂地区コミュニティバス ・運行系統:中部コミュニティセンター～中部コミュニティセンター ・運行日:毎日(9便は平日のみ運行) ・運行本数:9便/日(土日祝日、8/13～15、12/29～1/3)	平成29年8月に実施したアンケート調査やこれまでの利用実績に基づき分析・検討を行い、平成30年4月から運行内容の見直しを実施した。また、見直し後の利用者推移を分析し、低迷している便についてはJR大網駅での電車との乗継状況を改善するため、平成30年11月にダイヤの見直しを実施した。引き続き、利用状況の分析を行い、正確なニーズ把握を行うことで利用促進を図りたい。	A	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成31年度は過去最高の利用者数を記録。</li> <li>平成30年4月に利用の低迷していた平日6時台の便を廃止し、9時台の便を新設したほか、新たに運賃割引の導入や平成30年11月には、JR大網駅東地区の区画整理による新たな道路の開通に伴う運行ルート及びダイヤの見直しを行った。</li> <li>利用促進のため、ターゲット地域に向けた周知活動を実施。</li> <li>・コミュニティバスの運行を継続することにより、増穂地区に存在する公共交通空白地域の大部分が解消され、高齢者や免許返納者等の移動手段確保並びに外出支援の推進が可能となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションバスの運行が継続されることには、地域にとって有効な活性化策になるとともに、地元住民がさらには当事者意識を持ち、応援団となるような利用促進策や情報提供の仕組みを検討していく必要がある。</li> <li>・目標数値の達成状況を利用者(住民)・事業者・行政がそれぞれの役割のもと評価し改善策を検討するなどの協業による取組みを通して、地域の実情に即した持続可能な交通体系を構築する。</li> </ul>
白里地区コミュニティバス ・運行系統:コスモス荘～大網病院、コスモス荘～コスモス荘 ・運行日:月曜日から金曜日(土日、12/29～1/3運休) ・運行本数:8便/日	平成30年10月から運行を開始し、小型車両によるきめ細かなルート設定、大網病院直行便の設置、既存バスとの接続に配慮した仕組み及び既存バスとの乗継ぎ利用者を対象とした割引制度の導入等により利用者利便性の向上を図った。	A	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年10月の運行開始以来、広報紙やホームページ、チラシでの周知や無料乗車券の配布等で利用促進に努めたが、利用状況は1便平均0.6人と低迷している。</li> <li>・市地域公共交通活性化協議会の意見を踏まえ、運行計画の見直しに着手。</li> <li>・目標どしていた数値には達しなかつたが、コミュニケーションバスの運行を継続することにより、白里地区に存在する公共交通空白地域の大部分が解消され、高齢者や免許返納者等の移動手段確保並びに外出支援の推進が可能となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションバスの運行が継続されることには、地域にとって有効な活性化策になるとともに、地元住民がさらには当事者意識を持ち、応援団となるような利用促進策や情報提供の仕組みを検討していく必要がある。</li> <li>・目標数値の達成状況を利用者(住民)・事業者・行政がそれぞれの役割のもと評価し改善策を検討するなどの協業による取組みを通して、地域の実情に即した持続可能な交通体系を構築する。</li> <li>・令和元年8月に実施したアンケート結果やこれまで実施してきた施策の課題をもとに、協議会での議論を経て、地域の実情に即した運行計画に見直しをする。</li> </ul>

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

別添1-2

令和2年1月29日

協議会名:	大網白里市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内ファイダー系統確保費国庫補助金
【事業の目的】	<p>市内増穂地区及び白里地区に存在する公共交通空白地域を解消する。</p> <p>【事業の必要性】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・市内増穂地区においては、バス停留所が最寄り1kmにない公共交通空白地域が一部に存在しており、これを解消することを目的的に、平成22年1月から平成24年3月末までコミュニティバスの実証運行を行った。この実証運行において、目標数値(7人/便)を達成したこと、加えて、利用者が増加傾向にあることや運行継続を求める利用者要望が挙がるなどの将来需要が見込まれたことから、平成24年4月から本格運行に移行。運行開始当初から現在まで利用者数は安定して推移しております。</li><li>・市内白里地区においては、県道を走る路線バスが運行されているものの、この県道上にあるバス停留所から1kmより遠い地域に公共交通空白地域が存在している。これを解消するため、平成25年に市とバス事業者が協定を締結し、新たな路線バスを運行したが、平成30年9月に事業者との協定が終了したことによる廃止に伴い、切れ目無く地元住民の生活の移動手段を確保するため、平成30年10月1日から新たな公共交通を導入した。</li><li>・コミュニティバスの利用者は高齢者をはじめ、自身で自動車を運転しない方が多い。他にバス路線のない地域住民にとって、自宅近くで乗降可能なコミュニティバスが運行することは、買物や通院など日常生活における移動手段として必要性の高いものであると考えられる。</li></ul> <p>(事業実施の目的・必要性)</p>

# 令和元年度 大網白里市地域公共交通活性化協議会（千葉県大網白里市） (地域内ファイーダー系統確保維持事業)

## 地域の公共交通の現況

本市は東西に細長い形状をしており、人口密集地である西側にはJR大網駅を中心とした鉄道、路線バス、高速バス網が張り巡らされている。また、東西を貫く幹線道路の県道山田台大網白里線には民間路線バスが通っている。一方で、駅やバス停から1km以上離れている「公共交通空白地域」も存在し、特に市中央部の増穂地区や東側の白里地区においてはバス停までアクセスするところが困難な地域が広く存在していることから、これら地域の移動手段を確保することが求められている。

## 網形成計画の目指す概要／地域公共交通に関する施策・取組の概要

平成29年3月に策定した「大網白里市地域公共交通網形成計画」において、以下の基本方針に基づき、公共交通の利便性向上に取り組むこととしている。

- ①路線バスの利便性向上を図り、市内公共交通システムの充実を図る。
- ②高齢化の進む地域、公共交通空白地域における移動手段について、検討を進め、対応を図っていく。
- ③事業者、行政、住民が協働して持続可能な公共交通システムの確立を図る。

## 交通施策として実施した事業の全体像の概要

市内に存在する公共交通空白地域の解消及び高齢者の日常生活における移動手段を確保するため、増穂地区及び白里地区でコミュニティバスを運行している。いずれも地域の実情に即した持続性のある交通体系の実現を図るために、継続的に運行内容の見直し等を行ってきた。見直し等にあたっては、バスルート沿線地域の住民及びバス利用者を対象としたアンケート調査の実施や事業者等との協議、地域住民との意見交換会を実施した上で市地域公共交通活性化協議会にて協議を行っている。

## 補助対象事業の概要

市内の増穂地区及び白里地区に存在する公共交通空白地域の解消及び高齢者の日常生活における移動手段を確保するためコミュニティバスを運行している。利用者の利便性向上を目的に、JR大網駅における鉄道や既存路線バスとの接続などを考慮したダイヤ改正等を行っているほか、平成30年度には運転免許自主返納者に対する新たな割引制度を導入した。

### 【増穂地区コミュニティバス(はまバス)】

事業者名：小湊鉄道株式会社  
運行系統：中部コミュニティセンター～中部コミュニティセンター(約24km)

運行日：毎日(9便は平日のみ運行)  
運行時間帯：7時台～19時台  
運行本数：9便／日(平日)・8便／日(土日祝日)、8/13～15、12/29～1/3  
運行車両：ノンステップバス(36人乗り)  
運賃：200円(小学生、障がい者(手帳提示)、運転免許自主返納者(運転経歴証明書提示)の方は100円)。

※大網病院で降車する場合は倍額

## 協議会開催状況

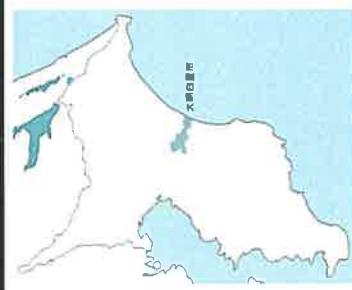
○協議会の開催状況 5回開催  
・第1回(平成31年1月 書面開催)  
事業評価について

・第2回(平成31年2月1日)  
コミュニティバスに関する協議等  
・第3回(令和元年5月 書面開催)  
白里地区コミュニティバスに関する協議  
・第4回(令和元年6月21日)  
生活交通確保維持改善計画案等について

・第5回(令和元年11月19日)  
白里地区コミュニティバスに関する協議

## 網計画の策定年月日

平成29年3月



面 積	58.08km <sup>2</sup>
人口 (H27.1.1時点)	50,714人
15歳未満	5,837人
65歳以上	13,702人
高 齢 化 率	27.0%
世 带 数	20,746世帯

## 前回の事業評価結果の反映状況

### 【増穂地区コミュニティバス】

地域のニーズを把握するため、平成29年8月にアンケートを実施し、この分析結果をもとに、協議会での議論を経て、運行内容の見直しを実施。運転免許自主返納者に対する運賃割引を新たに導入するなど、利用者利便性の向上を図った。また、運行内容見直し後、各時間帯ごとの利用者推移を分析し、低迷している便についてはJR大網駅での電車との乗継状況を改善するため、平成30年11月にダイヤの見直しを実施した。

### 【白里地区コミュニティバス】

平成30年10月から運行を開始した白里地区コミュニティバスは、小型車両によるきめ細かなルート設定、大網病院直行便の設置、既存バスとの接続に配慮した仕組み及び既存バスとの乗継ぎ利用者を対象とした割引制度の導入等により利用者利便性の向上を図った。

### 定量的な目標・効果

#### 【目標】

- ①増穂地区コミュニティバス：利用者数 9. 1人／便、78. 9人／日、年間28, 800人
- ②白里地区コミュニティバス：利用者数 3. 0人／便、24. 0人／日、年間6, 168人

#### 【効果】

- ・コミュニティバスの運行を維持することにより、増穂地区及び白里地区に存在する公共交通空白地域の大半が解消され、高齢者等の交通弱者の移動手段確保、並びに外出支援の推進が可能となる。
- ・交通結節点であるJR大網駅における鉄道や既存路線バスとの効率的な連携を推進することで利用者の利便性向上を図るとともに活発な地域交流を促進し、地域活性化への足掛かりとする。

### 目標・効果の達成状況

#### 【目標の達成状況】

- ①利用者数 9. 2人／便、79. 5人／日、年間29, 026人

・平成31年度は過去最高の利用者数を記録した。

- ・平成30年4月に利用の低迷していた平日6時台の便を廃止し19時台の便を新設したほか、新たに運転免許自主返納者に対する運賃割引の導入や平成30年11月には、JR大網駅東地区の区画整理による新たな道路の開通に伴う運行ルート及びダイヤの見直しを行った。
- ・利用促進のため、ターゲット地域に向けた周知活動を実施。

- ②利用者数 0. 6人／便、4. 9人／日、年間1, 258人

- ・平成30年10月の運行開始以降、広報紙やホームページ、チラシでの周知や無料乗車券の配布等で利用促進に努めたが、利用状況は低迷している。
- ・市地域公共交通活性化協議会の意見を踏まえ、運行計画の見直しに着手。

#### 【効果の達成状況】

白里地区コミュニティバスについては目標数値を達成することができなかったが、コミュニティバスの運行を継続することにより、市内に存在する公共交通空白地域の大部分が解消され、高齢者や免許返納者等の移動手段確保並びに外出支援の推進が可能となっている。

## アピールポイント

・利用者の利便性を上げるため、交通量の少ない区間ににおいて「自由乗降区間」を設定。

・運転免許自主返納者を対象とした運賃割引を導入。

・商業施設や病院には、敷地内までバスが乗り入れし、建物入口付近で乗降が可能。また、商業施設内のフードコートでバスを待つことができるようバス停を設置し、バス待ち環境の改善を図っている。

・県道上を運行する路線バスとバス停留所を近接、接続させることで、JR大網駅など市街地へ向かう利用者に配慮している。また、路線バスとの乗継ぎ利用者を対象とした割引制度を導入。

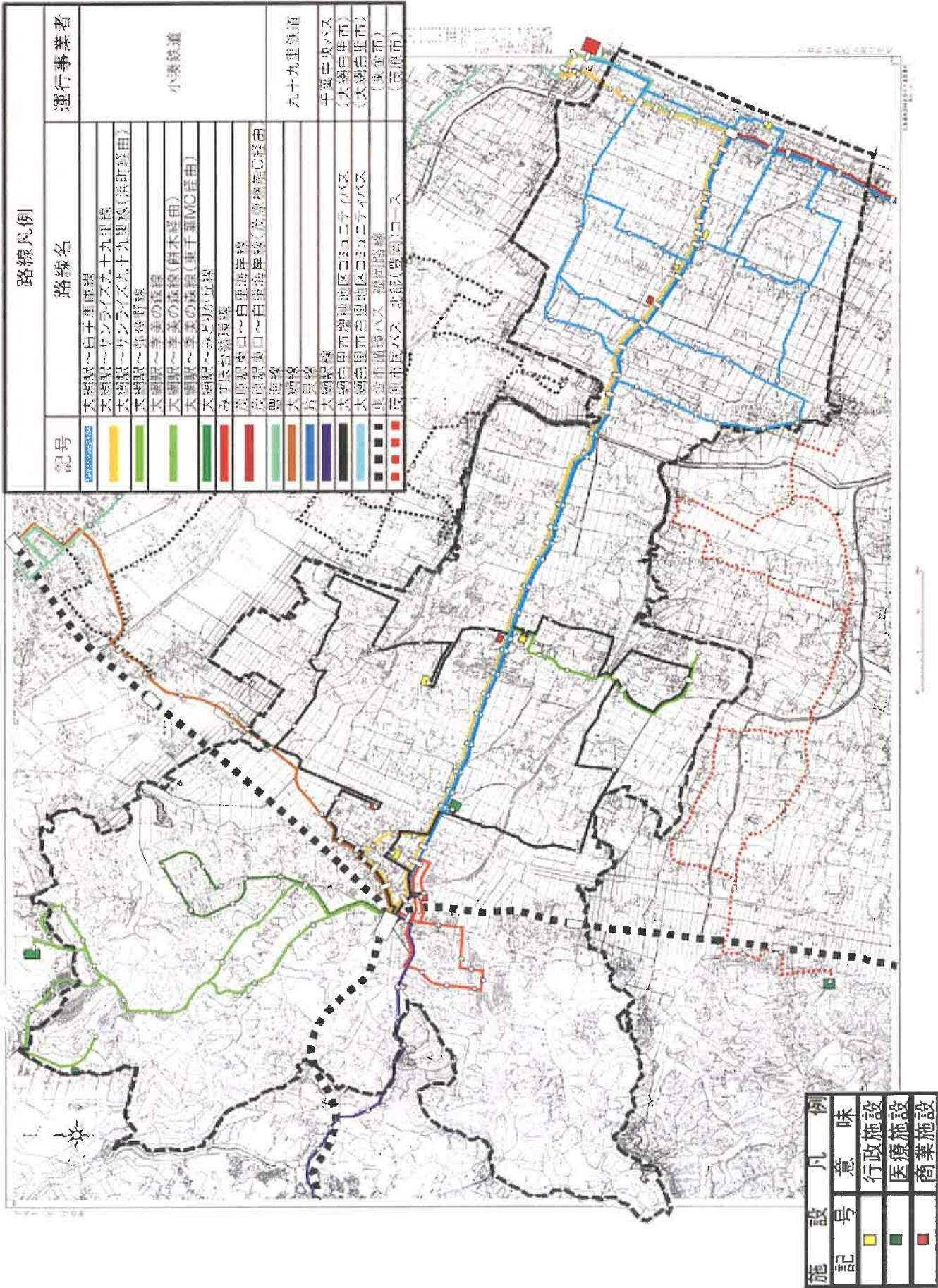
### 今後の改善点

・市地域公共交通網形成計画では、基本方針として「事業者、行政、住民が協働して持続可能な公共交通システムの確立を図る」ことを掲げている。コミュニティバスの運行が継続されることは、地域にとって有効な活性化策になるという理解の浸透を図るとともに、地元住民がさらに当事者意識を持ち、応援団となるような利用促進策や情報提供の仕組みを検討していく必要がある。

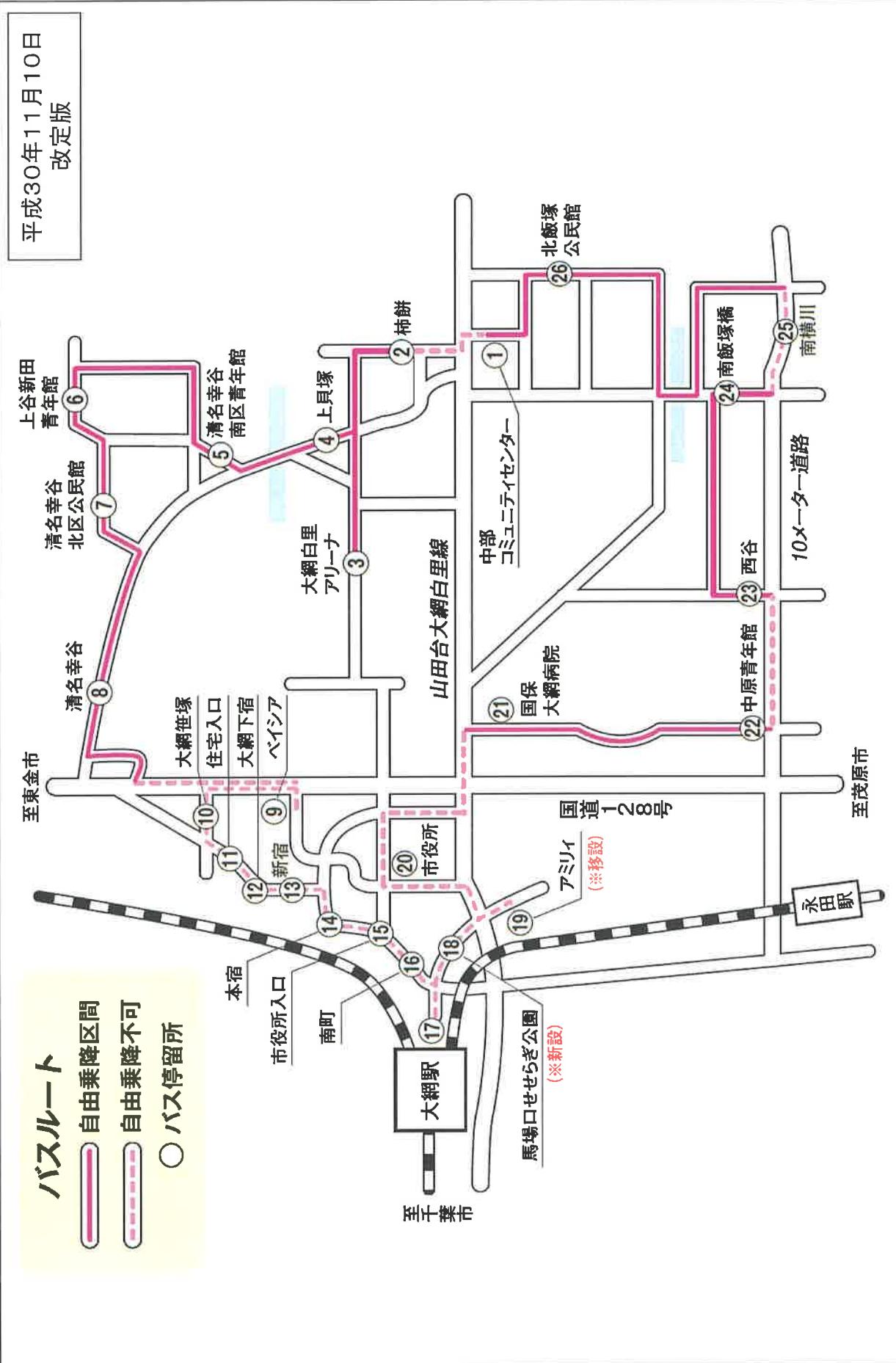
・目標数値の達成状況を利用者(住民)・事業者・行政がそれぞれの役割のもと評価し改善策を検討するなどの協業による取組みを通して、地域の実情に即した持続可能な交通体系を構築する。

・白里地区コミュニティバスにおいては、令和元年8月に実施したアンケート結果やこれまで実施してきた施策の課題をもとに、協議会での議論を経て、地域の実情に即した運行計画に見直しをする。

# 地域の公共交通体系図



# 増穂地区コミュニティバス運行図



## 増穂地区コミュニティバス利用実績

年 月	左回り				右回り				合計				
	運行日数	大人	平均(人/便)	小人	平均(人/便)	大人	平均(人/便)	小人	平均(人/便)	大人	平均(人/便)	小人	平均(人/便)
平成30年10月	31	1,145	7.8	158	1.1	1,303	8.9	1,042	8.4	141	1.1	1,183	9.5
11月	30	1,103	7.8	152	1.1	1,255	8.9	980	8.2	127	1.1	1,107	9.2
12月	31	1,179	8.2	177	1.2	1,356	9.5	1,018	8.2	139	1.1	1,157	9.3
平成31年 1月	31	953	6.7	135	0.9	1,088	7.6	882	7.1	107	0.9	989	8.0
2月	28	1,016	7.8	154	1.2	1,170	8.9	905	8.1	116	1.0	1,021	9.1
3月	31	1,150	8.0	211	1.5	1,361	9.5	1,027	8.3	155	1.3	1,182	9.5
4月	30	1,043	7.5	189	1.4	1,232	8.8	903	7.5	172	1.4	1,075	9.0
令和元年 5月	31	1,107	7.7	198	1.4	1,305	9.1	953	7.7	154	1.2	1,107	8.9
6月	30	1,113	8.0	200	1.4	1,313	9.4	989	8.2	160	1.3	1,149	9.6
7月	31	1,197	8.2	222	1.5	1,419	9.7	1,103	8.9	147	1.2	1,250	10.1
8月	31	1,209	8.5	197	1.4	1,406	9.9	1,064	8.6	150	1.2	1,214	9.8
9月	30	1,092	8.1	197	1.5	1,289	9.6	942	8.1	153	1.3	1,095	9.4

年度合計	365	13,307	7.9	2,190	1.3	15,497	9.2	11,808	8.1	1,721	1.2	13,529	9.3

1日当たり平均利用者数 = 79.5人

# 白里地区コミュニティバス運行図(月・水・金)

平成30年11月10日  
改定版

## 《バスルート》

1便(大網病院行き)  
2便～8便

実線部はバス停留所以外でも乗降できます。

至九十九里町

上合

多目的広場入口



※1便は大網病院まで直行(この間、乗降はできません)

至白子町

# 白里地区コミュニティバス運行図(火・木)



## 白里地区コミュニティバス利用実績

年	月	月・水・金				火・木				合計				運賃収入 (円)									
		利用者集計				利用者集計				利用者集計													
		運行日数	病400	病200	大	小	合計	1便平均	運行日数	病400	病200	大	小	合計									
平成30年	10	14	4	1	39	1	45	0.4	9	1	0	7	1	9	0.1	23	5	1	46	2	54	0.3	9,200
	11	13	4	0	39	0	43	0.4	9	3	0	10	0	13	0.2	22	7	0	49	0	56	0.3	9,800
	12	12	4	2	36	2	44	0.5	8	6	1	8	0	15	0.2	20	10	3	44	2	59	0.4	11,200
平成31年	1	12	2	3	32	2	39	0.4	8	8	0	9	0	17	0.3	20	10	3	41	2	56	0.4	11,600
	2	12	3	1	45	3	52	0.5	8	3	0	17	5	25	0.4	20	6	1	62	8	77	0.5	13,400
	3	13	10	0	86	7	103	1.0	8	2	0	53	12	67	1.0	21	12	0	139	19	170	1.0	16,500
	4	13	8	0	86	0	94	0.9	9	15	0	74	2	91	1.3	22	23	0	160	2	185	1.1	18,200
令和元年	5	14	7	0	48	9	64	0.6	9	3	0	19	13	35	0.5	23	10	0	67	22	99	0.5	16,600
	6	12	3	2	42	16	63	0.7	8	3	2	49	23	77	1.2	20	6	4	91	39	140	0.9	23,700
	7	14	15	5	57	14	91	0.8	9	4	0	29	10	43	0.6	23	19	5	86	24	134	0.7	24,800
	8	13	6	4	56	4	70	0.7	9	11	2	23	2	38	0.5	22	17	6	79	6	108	0.6	20,400
	9	12	6	1	39	19	65	0.7	8	4	3	29	19	55	0.9	20	10	4	68	38	120	0.8	20,200
年度合計		154	72	19	605	77	773	0.6	102	63	8	327	87	485	0.6	256	135	27	932	164	1255	0.6	175,600

\*「病400=大網病院行き利用者で400円支払者」  
「病200=大網病院行き利用者で200円支払者」  
「小=小人、障がい者、要扶助免許自主運転納税者」

1日当たり平均利用者数 = 4.9人